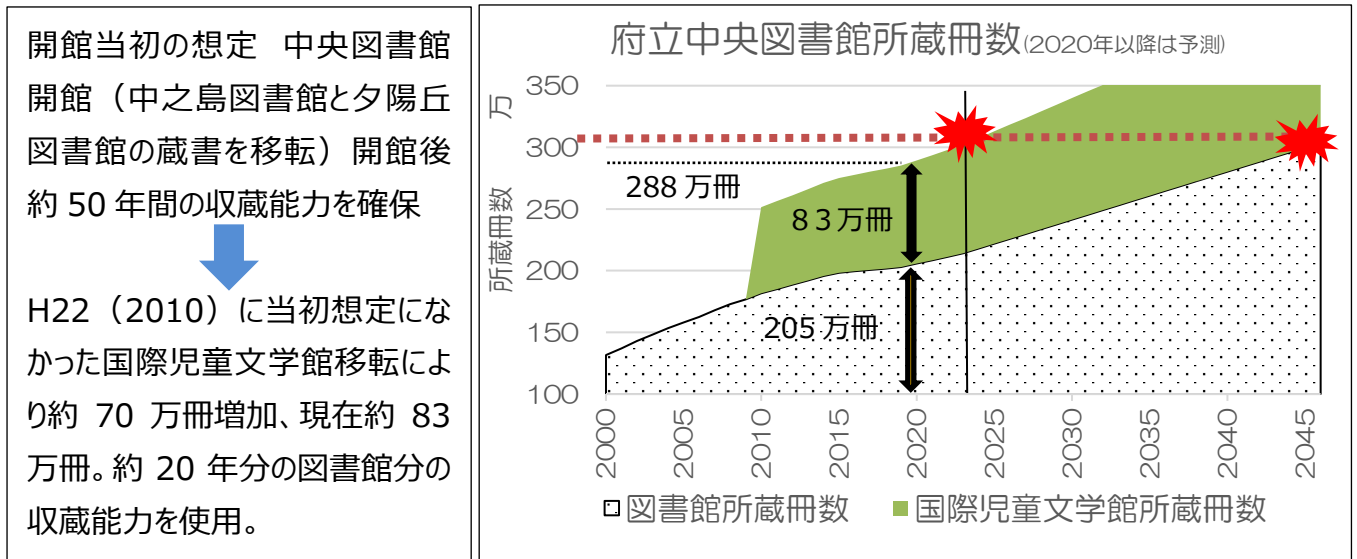


中央図書館書庫の収蔵能力と今後のスケジュール

(2020.3.31 現在)



R 元年度 (2019)	R2 年度 (2020)	R3 年度 (2021)	R4 年度 (2022)	R5 年度 (2023)	R6 年度 (2024)
検討期間					R6.2 に収蔵能力 限界を迎える予定

方針
決定

- 想定 1 地下 1 階既設書庫の拡張や地下 2 階駐車場の書庫化
 - 想定 2 敷地内での書庫新築
 - 想定 3 立地条件を考慮した上で、既存の府有施設の活用
- 検討結果から最も効果的かつ効率的な方策を決定したうえで、今後の事業実施に係る精査を行う。（必要に応じ、所用の予算要求）

○検討内容

- ① 現施設把握のための状況調査
- ② 検討に必要な法令上の諸条件の調査、官公庁からの情報収集
- ③ 検討に必要なインフラ供給配管などの埋蔵物の状況確認
- ④ 増床する場合の方針検討
- ⑤ 既存施設の再活用や増改築方針案の実現性検討

○議会での質疑等（令和元年度）

- ・大阪府議会 9 月定例会（後半）一般質問 公明 中野議員（令和元年 12 月 12 日）
Q. 中央図書館の書庫があと 5 年程度で収蔵能力が限界を迎える、今後の取組みについて伺う。
A.（教育長）喫緊の課題と認識し、今後、地下書庫の拡張や地下駐車場など既存施設の有効活用を含め、どのような手法が適切か、調査を進めてまいります。
- ・同 2 月議会 一般質問 維新 横倉議員【府立図書館の活用促進】（令和 2 年 3 月 6 日）
- ・同 教育常任委員会 共産 内海議員【中央図書館の収蔵能力】（令和 2 年 3 月 11 日）